

加工品の開発・販売により農家所得をアップ

【令和2年度補正】

既存の農産物加工施設を有効活用した商品開発（農産物を高付加価値化した事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

調査・検討・実践

【地区名】 ^{すがま} 須釜地区（福島県玉川村）

【現況】 ・玉川村の農産物加工施設は、厳しい運営状況が続いており、運営方法等の改善が必要。
・所得確保に向け、地域で振興している「さるなし」や「ブルーベリー」等の高付加価値化を検討するため、消費者のニーズを把握し、販売戦略を立てる必要がある。

① アンケート調査の実施

地区住民の食の消費生活と同地区の生産者を対象とした農産物生産と販売に関する実態を調査



①実態調査の報告書

② 6次産業化商品の生産

農産物加工施設を活用し、地域農産物をジャムやケーキ等の商品を開発



②農産物加工施設を活用した商品開発

③ 道の駅等でのPR

地域の道の駅で販売する商品にポップを置くこと等により販売額が向上



農産物加工施設



③道の駅での販売状況

取組の成果

令和6年度の農産物加工品の販売額は1,999千円となっており、現況値の1,090千円から販売額が大幅に増加（83.4%増）している。

現況値(R2)	目標値(R6)	実績値(R6)
1,090千円	1,199千円	1,999千円